

千葉市中央区町内自治会連絡協議会

第 2 回 理 事 会

日時 令和元年 7 月 1 日 (月)

午後 2 時 3 0 分～

場所 きぼーる 1 5 階 ボランティア活動室 1

千葉市中央区町内自治会連絡協議会

「第2回理事会」次第

日 時 : 令和元年7月1日(月)
午後2時30分～

場 所 : きぼーる15階ボランティア活動室1

1 会長挨拶

2 議 題

- (1) 令和元年度要望事項について
- (2) 令和元年度中央区町内自治会連絡協議会の活動研修会について
- (3) 「千葉市中央区町内自治会連絡協議会表彰内規」の一部改正について

3 そ の 他

- (1) 受動喫煙対策について(健康企画課受動喫煙対策室)
- (2) 地域リーダー研修の報告について
- (3) 市政功労者表彰の対象者について
- (4) 今後の日程について

ア 三役会 令和元年9月 日()

イ 第3回理事会 令和元年9月 日()

議題（１）令和元年度要望事項について

１ 地区連協別提出状況

地 区	要 望 事 項 件 数 (件)	
	令和元年度	前 年 度
第 2 地区	0	0
第 3 地区	0	0
第 4 地区	0	0
第 5 地区	1	2
第 8 地区	0	0
第 9 地区	3	5
第 13地区	2	1
第 15地区	1	0
第 16地区	3	3
第 21地区	0	0
第 27地区	1	1
都 地 区	0	0
第 5・8地区		1
第 4・5地区	1	
第 2・5・ 8・13地区		1
第 4・5・ 13地区	1	
計	13	14

2 分類方法

分類	要望事項の内容
市連協要望	国や県に要望するもの。
区連協要望	中央区の特徴的問題であり、区内共通の課題で要望するもの。
市政相談	地域住民共通の身近な問題であり、地元町内自治会や住民だけでは解決が困難で、行政と協力して処理することが必要なもの。

- ・ 市連協要望は、市連協会議を経て国や県へ提出します。
- ・ 区連協要望は、理事会の承認後、中央区長へ提出します。
- ・ 市政相談は、地域振興課長から所管課へ依頼します。

令和元年度 中央区町内自治会連絡協議会要望事項一覧

No.	地区	要望事項 ※ → 継続要望	市	区	市政	担当課
1	第4・5地区	※ モノレール駅名変更「葭川公園」を「中央公園」へ		○		都市局都市部交通政策課
2	第5地区	※ 京成西登戸・新千葉駅利便性改善に市の協力を		○		都市局都市部交通政策課
3	第9地区	市道大巖寺50号線等の安全対策について			○	建設局道路部道路計画課 建設局土木部中央・美浜土木事務所維持建設課
4	第9地区	押しボタン式信号機の待ち時間の短縮化について			○	市民局市民自治推進部地域安全課
5	第9地区	大網里道踏切歩道の改修のお願い			○	
6	第13地区	村田町19号線上の生浜踏切の拡幅及び前後道路の整備について			○	建設局道路部道路計画課 建設局道路部街路建設課
7	第13地区	※ 都市計画道路の早期着工・完成について「仁戸名町～古市場町線」		○		建設局道路部道路計画課
8	第15地区	マンホールトイレ設置の要望		○		総務局防災対策課
9	第16地区	※ 都市計画道路「加曾利町大森町線」の早期整備について		○		都市局都市部交通政策課 建設局道路部道路計画課 建設局道路部街路建設課
10	第16地区	※ 仁戸名町31・45号線の歩道整備について		○		建設局道路部道路建設課
11	第16地区	仁戸名町12号線の道路狭窄標示（注意喚起）について			○	建設局土木部中央・美浜土木事務所維持建設課
12	第27地区	松ヶ丘坂下公園 側道の拡張			○	建設局土木部中央・美浜土木事務所維持建設課
13	第4・5・13地区	※ JFE粉塵（降下ばいじん）の改善を		○		環境局環境保全部環境規制課

令和元年度 中央区町内自治会連絡協議会要望事項一覧

No.	地区	要望事項 ※ → 継続要望	要 望 要 旨	市	区	市政	担当部局	担当課
1	第4地区 第5地区	※ モノレール駅名変更「葭川公園」を「中央公園」へ	平成28年に中央区のにぎわいを担っていた千葉パルコが、また29年に千葉県、千葉市の高級消費のシンボルであった三越千葉店が営業停止、閉鎖され、千葉銀座、富士見などの千葉市の中心商店街の灯がさらに暗くなった。一方、平成30年JR千葉駅の改築と駅ビル内の店舗街が話題をよび、乗降客以外の近隣住民も「エキナカ」へ押し寄せている。 千葉市の中心街の再興のためには、中心街への交通アクセスが生死を握っている。路線バスや平成29年にスタートしたチーバスもあるが、重要なのは千葉市のモノレールの活用である。千葉駅ビルの改装によりJR駅からモノレール駅に直接つながる通路ができたが、最低料金が200円ということもあって利用客は伸びていないのが現状である。まず中心商店街へモノレールが便利であるというアピールが欠けている現状を変えなければならない。 千葉銀座や富士見などの中心街の近接モノレール駅は「葭川公園」であるが、読みの難しさや知名度の低さから、どこにあるか知らない市民が大半である。一方、すぐそばの「中央公園」はさまざまなイベントが催され、商店街や文化センター、美術館などの文化施設にも近く、市民の集いの中心になっているが、その近接モノレール駅がわかりにくく知られていない。 以上のことからモノレール駅名を「葭川公園」から「中央公園」に変更することを要望する。また、この駅が中央公園、美術館、区役所（きぼーる）のアクセスの駅であることを千葉駅や葭川公園駅内に表示することを要望する。			○	都市局 都市部	交通政策課
2	第5地区	※ 京成西登戸・新千葉駅利便性改善に市の協力を	京成西登戸駅、新千葉駅は登戸、汐見・春日、新千葉地区の住民が千葉や東京方面に出る際の重要な交通機関ですが、約40年前のホーム延長に伴う改築以来、千葉方面に出る場合、改札口から高い跨線橋を渡って反対側ホームに行かなければなりません。このため高齢者、車いす使用者や障害者、ベビーカー使用の幼児の家族などには大変不便で、かなりの人たちが利用を諦めているのが現状です。私達は平成17年から13年間、毎年千葉市長や京成本社などにこの状況の改善を訴え、要望書を提出し、簡易改札口の新設などを提案し交渉してきました。平成24年には住民の皆様やこの駅を利用する方々の約6,800名の署名を集めました。 平成27年4月、千葉市として京成電鉄の経営統括部に善処を申し入れた際に、鉄道本部計画管理部課長から、国の基準の一日乗降客3,000人以下の駅に関しては京成としてバリア改善する計画はない。地元の改善要望が強い駅は「請願駅」（新設）と同等と考えているという回答がありました。私達は国の基準のバリア改善を要望しているわけではなく、利便性改善のための千葉行き側のホームの簡易改札の設置を永年求めています。 西登戸駅の利用客は昨年（2018年）平均1日約2,700名となり、また新千葉駅もJR千葉駅の改築や西口地区の開発などで利用者は増えています。2020年にはオリンピックパラリンピックが千葉市でも行われ、世界の障害者アスリートや関係者、観客が京成駅を利用することも増えます。 平成30年5月、京成本社で幹部と面会し、常務・鉄道本部長から本年度施行される「高齢者、障害者等の移動等の円滑化促進の法改正」に合わせて地元のバリアフリーのまちづくり計画と連携して進めたいという前向きな回答が得られました。 千葉市の支援と協力を求めます。			○	都市局 都市部	交通政策課
3	第9地区	市道大巖寺50号線等の安全対策について	市道仁戸名115号線と大網街道の交差点から、市道大巖寺50号線を通り、花輪町166番地付近の交差点を経て、大森町25番地付近の信号機のある交差点に至る道路（以下当該道路と言う）は、大網街道との交差点改良工事後、大網街道混雑の抜け道として交通量が急増しています。 西福寺下の交差点で、当該道路に出入りする車の数を見てみると、5年前までは全体の1割程度だったものが、現状は5割又はそれ以上と推定されます。しかも主道路の大巖寺・赤井方面に出入りする車が減ったわけではなく、比率が大きく変動した分、新規に通行する車の数が増加したものと考えられます。 当該道路は途中何か所も大きくカーブしているうえ、道路の幅が4mからその倍以上と激しく変化しており、極めて危険性の高い道路でもあります。その為事故も急増しており、この2年間で花輪町166番地付近の交差点だけでも、人身事故で車両火災も起こした大事故が2件、物損程度の事故が5件発生しています。 また当該道路の2/3ほどは大巖寺小学校の通学路になっており、更に花輪町166番地付近で70戸ほどの宅地開発が行われ、子どもの数が急増しており、子ども達を交通事故から守ることも急務となっています。 その為、交通安全施設の拡充や道路の拡幅等が必要と考えられますが、効果的な改善を行うために、大網街道との交差点改良工事時（商業施設建設時）に行った交通量調査と比較して検討することが重要と考えられます。そこでまず現状の当該道路の交通量調査・実態調査を早急を実施することを強く要望します。			○	建設局 道路部 建設局 土木部	道路計画課 中央・美浜 土木事務所 維持建設課

令和元年度 中央区町内自治会連絡協議会要望事項一覧

No.	地区	要望事項 ※ → 継続要望	要 望 要 旨	市	区	市政	担当部局	担当課
4	第9地区	押しボタン式信号機の待ち時間の短縮化について	<p>蘇我中学校入口の交差点から大巖寺町公園に向かう途中の白旗グリーンベルトの信号機は、ボタンを押してから青に変わるまでの時間が非常に長くかかります。そのため、信号が青に変わるのを待たず、歩行者は車の来ないことを確認すると横断してしまいます。</p> <p>また、一方で、歩行者がボタンを押すも赤のまま横断してしまうと、その後、歩行者がいないにもかかわらず、車両側の信号が赤に変わり、車は止まらざるを得ません。</p> <p>安全面を考慮し、多少の待ち時間は必要と考えますが、当該信号機はあまりにも待ち時間が長いと思われます。この理由として、周囲の信号と連動しているためとは聞いていますが、常に2分以上待たされます。</p> <p>そこで、現状をご確認いただき、当該信号機の待ち時間の短縮化について、連動の必要性（国道との交差点の信号と切り離せないか）を含めて検討・実施することを要望します。</p>				市民局 市民自治推進部	地域安全課
5	第9地区	大網里道踏切歩道の改修のお願い	J R内房線、京葉臨海鉄道にある上記踏切の歩道が枕木を使った木製の歩道で凸凹が有り、車椅子、シルバーカー、ベビーカーの通行に支障が有ります。また児童の通学路でもあり、児童が足を挟まれた事も有ります。早急の改修をお願いします。					
6	第13地区	村田町19号線上の生浜踏切の拡幅及び前後道路の整備について	<p>村田町19号線整備計画（平成31年2月街路建設課）によると、同踏切は地域の事情等から緊急に改良を要する「地域課題踏切」に、また19号線は村田町のメインストリートつまり地域住民の生活道路として重要な道路として位置づけられている。しかし、同整備計画によればその改良には今後10年を要するとのことであり、同道路の地域における重要性及び安全の確保といった観点から考えたとき、できるだけ早急に改良が必要であると考え。よって、以上のことから同整備計画に先立って、同踏切の拡幅及びその前後道路の整備を要望するものである。</p> <p>上記「安全性の確保」を要望する根拠（同踏切とその前後道路との高低差及び幅員の狭さ）を示す写真を添付する。</p>				建設局 道路部	道路計画課 街路建設課
7	第13地区	※ 都市計画道路の早期着工・完成について「仁戸名町～古市場町線」	<p>日頃から当地域の環境保全と環境整備に深いご理解と格別のご理解を賜り、厚くお礼申し上げます。</p> <p>表題のことにつきまして、平成6年度・8年度・更に平成12年度と要望書を提出し25年の歳月を迎えますが着工の兆が見えないため、昨年（平成30年度）に再度要望書を提出いたしました。</p> <p>回答によりますと、平成27年度に都市計画道路の見直しと、平成30年度からは3か年の第3次実施計画により、事業効果の早期発現から着手路線の完成を優先して進めているとのことですが、下記の理由により要望を組み入れて頂きたく、今年度も、継続し要望いたします。</p> <p>【明德高校前より生実台セブンイレブン間の早期着工を切にお願い申し上げます。</p> <p>この完成により、地域の環状道路として利用でき、通学路の安全も確保され、特に、現状の急な坂をのぼるバス路線が変わることによって、大変危険となっている道路状況が改善されることとなりますので、何卒ご配慮賜りたく、優先順位の打上と早期着工、完成を要望いたします。】</p>				建設局 道路部	道路計画課
8	第15地区	マンホールトイレ設置の要望	<p>昨年の政府地震調査委員会の発表によりますと、千葉市は今後30年以内に震度6弱以上の地震発生確率が85%と高率だと言われています。</p> <p>東日本大震災では、地震発生から3時間以内に3割の方がトイレに行きたくなくなったとの報告もあります。ところが、避難場所・避難所における水洗トイレがすぐに使用ができなくなります。しかし震災後、仮設トイレの設備が避難所に設置されるのに数日かかるとの見通しも聞くところです。</p> <p>そのことから、マンホールトイレの設置についてご協力をお願いしたいと思います。具体的には、設備を町会事務所等に備えることや、その使い方の教育等ということになるかと思います。</p>				総務局	防災対策課

令和元年度 中央区町内自治会連絡協議会要望事項一覧

No.	地区	要望事項 ※ → 継続要望	要 望 要 旨	市	区	市政	担当部局	担当課
9	第16地区	※ 都市計画道路「加曾利町大森町線」の早期整備について	第16地区連協の区域内である京成大森台駅付近を起点とし、大網街道までの「加曾利町大森町線」の整備に伴い、大森台駅の駅前広場やロータリーの整備も含まれると思うが、駅前広場から駅改札口までの動線についてバリアフリーに配慮して整備するようお願いし、また同時にエレベーターの設置についても同時に整備できるように京成電鉄と協議を行うこと。また、坂道の頂上付近となる喜久屋酒店前交差点（中央区仁戸名町601番地16地先）への信号設置について、道路整備と同時にできるように中央警察署との協議を行うこと。 松ヶ丘小学校の東側擁壁を改修し付近の歩道についても十分に幅員を確保するよう計画すること。 従来より要望している、松ヶ丘小学校東側の中央区松ヶ丘町552番地付近から中央区仁戸名町532番地先の大網街道までの区間の拡幅についても早急を実現されますよう要望いたします。			○	都市局 都市部 建設局 道路部	交通政策課 道路計画課・ 街路建設課
10	第16地区	※ 仁戸名町31・45号線の歩道整備について	仁戸名小学校の通学路にあたる、「皐月縫製前」（中央区仁戸名町285番地15地先）より「わたなべ整形外科」（中央区仁戸名町94番地4地先）付近までの区間は、仁戸名小学校へ通学する児童の通学路であるが、バス路線でもあり、通行量が大変多いにもかかわらず、歩道整備が完了していない。 当該場所は、道路幅員も狭くなっており交通事故の危険性は大きくある。通学路として使用する子供たちが安全・安心に通えるように、早急に歩道を整備されますよう要望いたします。			○	建設局 道路部	道路建設課
11	第16地区	仁戸名町12号線の道路狭窄標示（注意喚起）について	仁戸名町12号線の始点付近（中央区仁戸名町358番地）は大網街道との交差点は、階段になっており車両の通行が不可能な箇所であり、私道を通行すれば、大網街道への通行は可能ではありますが、当該道路の幅員は2.5m程度の箇所もあり地域住民以外の車両が進入すると、車両の通行に障害が発生しています。通行規制注意喚起（この先通り抜けできません等）の看板を表示する事により安全に通行できると考えますので、看板等の整備をされますよう要望いたします。			○	建設局 土木部	中央・美浜 土木事務所 維持建設課
12	第27地区	松ヶ丘坂下公園 側道の拡張	松ヶ丘坂下公園の西側の道路は車1台通るのがやっとで両サイド壁と1m以上の土手で囲まれている為見通しが悪く、防犯上危険である。 近年近くで火災があったことから、消防車が走行出来ず、消火活動に支障がないか心配している。 元々公園の範囲と道路の範囲が土手の中心で仕切られていることから道路を拡張し公園との境目を整備してほしい。			○	建設局 土木部	中央・美浜 土木事務所 維持建設課
13	第4地区 第5地区 第13地区	※ JFE粉塵（降下ばいじん）の改善を	中央区では千葉JFE（旧千葉川崎製鉄）から発生する粉塵等の被害が懸案であった（1988年千葉地裁判決、1992年東京高裁和解成立）。 平成27、28年の環境調査で中央区内に千葉市の環境目標値を超える降下ばいじん（粉塵）の測定値が観測された地点があった。また降下ばいじん月間値の年平均値をみると明確にJFE東日本製鉄所周辺の値が高くなっている。 これらを踏まえ以下の事を要望する。 1) 測定全地点で、継続的に千葉市の環境目標値を達成するように、現在の粉塵の主な発生源であるJFE東日本製鉄所千葉工場を指導し、石炭・コークス置き場等と運搬経路の粉塵発生・拡散の根本的な改善を求めることを要望する。 2) 千葉市内の降下ばいじん（粉塵）被害の実態を正確に把握するため、現在の臨海部の住環境に対応した新たな観測地点を増やし、環境調査を追加・続行することを要望する。 ：現在の調査地点は国道14号（357号）の内陸側あるいは隣接地にあり、千葉港や問屋町などマンション等が多たてられている現在の臨海部の住環境に対応していない。また国道等が原因の複合汚染も関与して発生源が特定しにくい。			○	環境局 環境保全部	環境規制課

議題（２）令和元年度中央区町内自治会連絡協議会の活動研修会について

1 趣 旨

町内自治活動に直接関連する諸活動の状況、施設等を視察することにより、地域社会の発展と町内自治会の交流及び親睦を深めることを目的に、区町内自治会連絡協議会による活動研修会を実施する。

2 予 算 額

502,000円

（区連協補助金：350,000円、参加者負担金：152,000円）

※参加者負担金については、参加人数76人（1地区連協あたり6人と事務局4人）として計上したもの。

3 実施予定時期

令和元年11月（令和元年度事業計画に基づく）

4 町内自治会参加人数

72人（1地区連協あたり6人程度）

5 視察候補地

- ① 東京都虹の下水道館（東京都江東区有明2-3-5 有明水再生センター5階）
- ② 旧三河島污水処分場唧筒（ポンプ）場施設（東京都荒川区荒川8-25-1）
- ③ 本所都民防災教育センター本所防災館（東京都墨田区横川4-6-6）
- ④ 防災体験学習施設「そなエリア東京」（東京都江東区有明3-8-35）

6 平成30年度活動研修会（参考）

- (1) 実施日 平成30年11月16日（金）
- (2) 視察先 かわさきエコ暮らし未来館
資源化处理施設
メガソーラー展望スペース
（川崎市川崎区浮島町509番-1 浮島処理センター内）
東芝未来科学館
（川崎市幸区堀川町72-34 ラゾーナ川崎東芝ビル2F）
- (3) 参加者数 67人（町内自治会63人、事務局4人 バス2台）
- (4) 経 費 418,067円

中央区町内自治会連絡協議会 視察研修先一覧

中央区		
H30. 11. 16	視察先 日程 随 行	神奈川県 ○かわさきエコ暮らし未来館・資源化処理施設・メガソーラー展望スペース ○東芝未来科学館 日帰り あり
H29. 11. 17	視察先 日程 随 行	茨城県 ○国立研究開発法人 防災科学技術研究所 ○タカノフーズ株式会社 日帰り あり
H28. 11. 24	視察先 日程 随 行	千葉県 ○三陽メディアフラワーミュージアム ○ケーズハーバー ○ジャパン・リサイクル(株) 千葉リサイクルセンター、千葉バイオガスセンター ○新浜リサイクルセンター ○(株)グリーンアース 日帰り あり
H27. 11. 18	視察先 日程 随 行	茨城県 ○神之池バイオエネルギー株式会社 ○地図と測量の科学館 日帰り あり
H26. 11. 12	視察先 日程 随 行	千葉県 ○東京ガス(株)袖ヶ浦工場 日帰り あり
H25. 11. 12	視察先 日程 随 行	神奈川県 ○横浜市民防災センター ○日本新聞博物館 日帰り あり
H24. 11. 13	視察先 日程 随 行	東京都 ○東京臨海防災公園(そなえりあ) ○江戸東京博物館 日帰り あり
H23. 11. 11	視察先 日程 随 行	神奈川県 ○横浜市水道局新エネルギー発電設備(小雀浄水場) 千葉県 ○大洲防災公園 日帰り あり
H22. 11. 9	視察先 日程 随 行	神奈川県 ○東芝科学館 日帰り あり
H21. 11. 18	視察先 日程 随 行	神奈川県 ○横浜美術館 東京都 ○町田リサイクルセンター 日帰り あり
H20. 11. 5	視察先 日程 随 行	埼玉県 ○リサイクル・プラザJB ○鉄道博物館 日帰り あり
H19. 11. 12	視察先 日程 随 行	東京都 ○目黒区防災センター 地震の学習館 日帰り あり

令和元年度活動研修会 視察候補地

区分	視察先	移動時間	概要	見学時間	千葉市内区連協の視察実績	日程候補												補足	同日行程案
						11/8(金)	11/11(月)	11/12(火)	11/13(水)	11/14(木)	11/15(金)	11/18(月)	11/19(火)	11/20(水)	11/21(木)	11/22(金)			
下水	東京都虹の下水道館 (東京都江東区有明二丁目3番5号 有明水再生センター5階)	約45分	東京都虹の下水道館は、お台場有明地区にある東京都下水道局の広報施設です。 館内の「レインボータウン」を舞台に、普段入ることのできない下水道管やポンプ所、中央監視室、水質検査室で下水道の仕事体験し、下水道に携わる人の思いや工夫に気づくことができます。有明水再生センター見学ガイドでは実際に下水を処理している様子を見学しながら、下水処理の仕組みについてわかりやすくご案内します。	2時間15分	なし	AM×	休	9:30 ~ 13:00 ×	○	9:30 ~ 14:30 ×	○	休	9:30 ~ 10:45 ×	○	AM× 14:00 ~ 15:00 ×	○	9時30分~16時30分の間で時間指定可能。 月曜日休		
下水	旧三河島汚水処分場噴筒(ポンプ)施設 (東京都荒川区荒川8-25-1)	約1時間	旧三河島汚水処分場噴筒施設は、隅田川中流に位置する旧下水処理場施設で、東京市改正事業の一環として、東京市技師米元晋一を中心として建設が進められ、大正11年3月に運用を開始しました。 本施設は、わが国最初の近代下水処理場である旧三河島汚水処分場の代表的遺構として、高い歴史的価値が認められることから、平成19年12月4日に下水道分野の遺構では、初めて国の重要文化財(建造物)に指定されました。 阻水扉室、沈砂池などの一連の建造物が旧態を保持しつつまとめて残っており、近代下水処理場噴筒施設の構成を知る上でも重要な文化財となっています。	1時間30分	なし	休	○	休	○	×	休	○	休	○	○	○	休	一度に受け入れられる最大人数は40名ほどのため、午前と午後バス2台を分けて見学する必要があります。 時間はそれぞれ自由な時間設定ができる。	
防災	本所都民防災教育センター本所防災館 (東京都墨田区横川4-6-6)	約50分	防災に関する正確な知識と技術、防災に対する意識の向上を図り、災害時の自主的な対応力を育てるための東京消防庁の防災体験学習施設。 ・地震体験コーナー・・・本物そっくりの地震を体験しその恐ろしさを知り、いざという時の行動を身につけてください。また、映像により、地震に対する備えの重要性をわかりやすく説明しています。 ・都市型水害体験コーナー・・・局地的集中豪雨や津波に関する映像、地下のドアや自動車が浸水して水圧がかかっているドアの開放体験ができます。 ・煙体験コーナー・・・煙の特性や危険性を知ったうえで、煙と空気の境目である中性帯の中を避難します。正しい避難の方法を身につけ、冷静な判断力と確実な行動力を養ってください。 ・暴風雨体験コーナー・・・風水害をもたらすほどの強風大雨を体験し、そのすさまじさを知るとともに、強風や大雨に関する知識を高めてください。	1時間50分	なし	13:00 ~	9:10 ~ 10:30 ~ 13:00 ~	9:10 ~	休	13:00 ~ 14:20 ~	13:00 ~ 14:20 ~	9:10 ~ 10:30 ~ 13:00 ~	10:30 ~ 13:00 ~	休	休	9:10 ~ 10:30 ~ 13:00 ~ 14:30 ~	76名参加の場合3班に分かれて体験 シアター+地震・煙・消火・応急手当の「基本コース」 または地震・煙・都市型水害・暴風雨の「風水害対応コース」	・「がすてなーに ガスの科学館」月曜日休 ・「江戸東京博物館」月曜日休 ・「日本科学未来館」火曜日休 他	
防災	防災体験学習施設 「そなエリア東京」 (東京都江東区有明3-8-35)	約45分	体験と学習2つのゾーンに分かれており、防災に関して多角的に学べる。「東京直下72h TOUR」では首都直下地震が起きたことを想定し、地震後の街や避難所生活を疑似体験できる。映像ホールでは地震に関するアニメを観られる。 ・防災体験ゾーン<所要時間:約30分> ・防災学習ゾーン オペレーションルーム<所要時間:約30分> ・2階映像ホール<所要時間:約30分>	1時間30分	・平成29年度若葉区 ・平成23・28年度緑区 ・平成27年度花見川区 ・平成24年度中央区 ・平成23年度美浜区	14:30 ~	14:30 ~ 15:00 ~	11:30 ~ 12:00 ~	12:00 ~	15:30 ~	×	12:30 ~ 13:00 ~	15:30 ~	12:00 ~ 14:00 ~	14:30 ~ 15:00 ~	14:30 ~ 15:30 ~	・ガイド付きツアーは30分毎。有料(料金定員30名:15,500円、30名を超える場合、520円/人加算) ・2班体制で見学 ・仮予約は不可 ・ツアーの時間は90分。そのため12時前後のスタートは昼食時間にかかってしまう		

議題（３）千葉市中央区町内自治会連絡協議会表彰内規の一部改正（案）について

千葉市中央区町内自治会連絡協議会表彰内規第３条については、次のとおり改正する。

内規第３条

旧	新
<p>(被表彰者の方法)</p> <p>第３条 被表彰者の該当者については、会長が調査し、第１条第２号については、理事の推薦により、それぞれ理事会に報告したのち総会において表彰するものとする。</p>	<p>(被表彰者の推薦方法)</p> <p>第３条 <u>第１条第１号における被表彰者の該当者については、会長が推薦し、第１条第２号における被表彰者の該当者については、理事の推薦により、それぞれ理事会に報告したのち総会において表彰するものとする。</u></p>

【参考】

(表彰の基準)

第１条 区域内住民福祉の増進のため、町内自治会活動を積極的に推進し、その実績が顕著で、且つ次の各号の一に該当するものについて、会長がこれを表彰する。

- (１) 中央区町内自治会連絡協議会役員（監事を除く）の職にあって退任したもの。
- (２) ５年以上引き続いて町内自治会長の職にあって退任したもの。